



西川花菜(はな)さん(20歳)

出身:青森県青森市

職業:大学2年生

成田葵葉(あおば)さん(20歳)

出身:青森県青森市

職業:大学2年生

この度、国の制度である『地域おこし協力隊インターン』制度を活用して、『学生版地域おこし協力隊プロジェクト!東通村の漁業の魅力を全国へ。』をテーマに東通村の尻屋漁業協同組合でインターンシップをしたいという学生を募集し、手を挙げてくれたのが、成田葵葉さんと西川花菜さんの2人です。

8月22日から9月16日までの約1カ月で現場体験をしながら『漁業&産品をPR! 宣材写真&HPを作成せよ!』という課題に向き合いました。

「今回、なぜこのインターンに応募しようと思ったのですか?」

成田 「私は大学の研修で今回のインターンシップについて知りました。元々海産物が大好きで、漁協のような仕事に興味があったので、ぜひ挑戦してみたいと思います」

西川 「私は、以前むつ市に住んでいて、東通村にも何度か来たことがあり、その頃から村に対して興味がありました。また、大学の先輩が村役場の職員なので、縁もあり参加を希望しました」

「どのような仕事内容ですか?」

成田 「通常業務といって、ウニ剥きや漁港での荷揚げ、伝票作成などを主

に行っています。最終的なゴールとしては、尻屋漁協のHPを作成すること、SNSでの情報発信ですので、通常業務を行うなかで、情報収集を行いながら、情報発信をするように心がけています」

西川 「成田さんと同じく、最終的には尻屋漁協のHPを作成すること、SNSを使って東通村・尻屋の魅力を発信していくことです。海産物の写真を撮影したり、SNSを毎日更新して、東通村・尻屋の魅力を発信しています」

「印象に残っていることはどんなことですか?」

成田 「まずは、やっぱり尻屋の人達は心温かくて優しいと感じました。インターン生である私たちを快く受け入れてくださり、何事も丁寧に教えてくださったので、毎日が本当に刺激的で楽しかったです。村内の施設を見学させていただいた際に、農産物加工センターでソーセージの加工を見て、このようにして、あの美味しいソーセージが出来ているんだと驚きました」

西川 「私も尻屋の人の温かさには、私も心が温まりましたし、毎日幸せで楽しい毎日を通しました。村のこと、尻屋の良いところを沢山知ることが出